

多数御出席下さるようお願い申し上げます。

※ 出席報告

会員数30名 当日出席21名 他ク出席3名 計24名(80%)

参考: 函館91.51% 函館東89.71%

※ スピーチ 『俳句について』 俣野純夫君

俳句の起源は遠く天和の時代と言われますが、俳句の内容の整つたのは有名な蕉からで、その後蕪村、子規などによつて5.7.5の短い自然詩となりました。いま芭蕉の句を大別してみると次の三つになります。

- 1. 自然をあるがままに表現したもの
- 2. 感情を自然によそえて表現したもの
- 3. 理智を通して自然を表現したもの 例えば

1は 古池や蛙飛び込む水の音

2は 初しぐれ猿も小囊を慾しげなり

3は 我が物と思えば軽し傘の雪 である。俳句は四季の変わり即ち寒さ暑さ等の感動又は衝動が胸中にあるものを吐出したものと見るべきで、芭蕉はよく旅行して見聞をひろめたものと思います。この季語(季題)は叙情的叙景詩であるから、季節感を生命としています。文化の発達に伴つて例えばロケット、人工衛星、月旅行などを考えますと、昔とは大変違つて来るわけです。

今フランスあたりでも俳句が盛んになつていようですが、柔道でヘーシングが優勝して、日本の柔道の覇権が持ち去られたように、俳句も自然風物等の美しい外国に株を奪われる時代が来るかも知れません。5.7.5の自然詩は生活と密接した記録で、自分の慰安と活力にすることが俳句の特点だと思います。そして文章、詩歌に「三多」と言い言葉がありますが、俳句も1.多く見て 2.多く作る 3.多く工夫する これが俳句の上達のひとつと思います。

○ 『ロータリーの友』に俣野会員の俳句がのつています。(会報係)

雪解水煤をまじえて流れけり(2月号)

浜人の声かん高にいわし雲(3月号)

※ 感想(スピーチ後の)

(新会長)私も俳句の鑑賞が好きで、虚子の『ホトトギス』を長い間購読してました。何度も投稿しましたが遂に一句も掲載されませんでした。只今の俣野会員のスピーチ、大変面白く聞きました。殊に俳句が、柔道や碁の様に外国に入つてゆくことは興味深い。(遠藤副会長)私も俳句を鑑賞しますが、特に私の所に入院していた下半身麻痺の鉄道員が読んだ句『芭をぬぐ木の芽の声を聴かんとす』はいたく感銘を受けました。病人であつたからこそこの様な感覚の鋭い句が出来たと思います。



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算才46号

1964~65-3-31

函館北ロータリークラブ

第41回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム 『日本のロータリー物語』 太秦康光氏

- ※ 司会 新会長
- ※ 斉唱 『奉仕の理想』
- ※ ゲスト 佐藤昌蔵君(尻内温泉旅館主)
- ※ ビジター 浜辺利蔵君(紋別R.C.漁業)
竹内新三郎君他8名(函館R.C.)
倉田厚君他5名(函館東R.C.)

※ 会長報告

- 1. 次の例会(4月7日)は日本のロータリークラブ創立45周年にあたるので、祝杯をあげ、東クラブ会長太秦先生より記念講演をお願い致します。
- 2. 深川R.C.からバナー交換の申し入れがありました。
- 3. 森R.C.から、4月6日P.M5.00より加盟承認一周年記念会を行う旨の案内状が参つております。
- 4. フロリダ州のフォーラルケープルスR.C.より、当クラブ創立に対するお祝状が来ました。

※ お知らせ

- 1. 仮クラブ設立 枚岡仮R.C.(大阪府)3月4日
- 2. チャーター・ナイト案内
俱知安R.C.6月18日(申込4月20日迄)
下川R.C.6月13日 雄武R.C.6月6日
名古屋守山R.C.5月9日

※ ニコニコ箱

- 1. 杉本会員の御子息が同志社大学に合格されました。(金賞)
- 2. 北村会員の御子息(次男)が慶応大学を御卒業され、又一人娘の千恵子さんが東高校に合格されました。(金賞)
- 3. 船矢会員の長男紳一君が東高校に、水上会員の長女裕美子さんが中部高校にそれぞれ合格されました。(銅賞)
いずれもおめでとございます。



通算才47号

1964~65-4-7

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

第42回例会

本日のプログラム

映画 『ゴルフア-のマナーとルール』

司会 新会長

斉唱 『君が代』 我等の生業

ゲストスピーカー 太秦康光氏

ビジター 木村英夫君他8名(函館R.C.)

本間定次郎君他13名(函館東R.C.)

会長報告

1. 本日は日本のロータリークラブ創立45周年を記念して乾杯し、太秦先生より『ロータリーソング』の裏話をおうかがいすることになっております。
2. チャーターナイトがせまつて来ましたので皆様の御協力をお願いします。具体的なことについて、例会終了後理事会を行います。

幹事報告

1. 昨 森R.C.のチャーター一周年記念会に、会長代理として出席して参りました。非常に盛会でした。
2. 本日の理事会でチャーターナイトの各委員をきめることになっており、又東クラブの皆様にも委員をお願いしますのでよろしく。

記念講演 『ロータリーソングについて』

函館東R.C.会長 太秦康光氏

歌には夫々性格があり、国歌は国の精神、理想を、校歌は学校の理想、主張を表した儀式ばつたものであり、又寮歌は若人が若さを発散させるものです。然らばローターソングは何の為に歌うかという、その答はR.I.発行の『ロータリークラブの為の歌』の見出しに、「歌う楽しみの為に歌う」とあり、更に歌を歌うクラブは良いクラブで、活気ある、友好的、協力的なクラブであると書いてあります。結局会員が集まる場で友愛的な雰囲気をかもし出す為に歌うものです。又ソングリーダー又は会長の心得として、①ロータリーソングの合唱は社交的結合剤の役目をする。②レクリエーション的の働きをする。③ロータリー精神を会員の心の中に殖えつける。④簡単な合唱のうちに芸術的により高度のものを歌いたくなる役目をする、とあります。日本のロータリーソングを以上の目的に照らしてみると②の点でまずい様に思います。私の外国

映画 『キャンプ・センチュリー物語』

デンマーク領グリーンランドで、アメリカ陸軍が撮影したものである。グリーンランドは北極に近い、アザラシやトナカイも生存不能という、極寒の広大な未開地である。アメリカ陸軍は、北極で生存する秘密を探究すべく、雪と氷の下に町(基地)をつくつたものである。"スカンク、と名付けられた輸送隊で、6000トンの物資が運ばれ、原子力発電所をつくり、種々の悪条件と戦いながら基地——キャンプ・センチュリーが完成されてゆく模様が、美しいカラー写真で展開されてゆきました。

人類の自然に対する飽くことを知らない挑戦に恐れ入つた次才です。

ロータリアン誌、について

『ロータリーの友』は毎月全会員に配布され、私達の良き心の糧となつていますが、その他にクラブ宛に毎月5部宛『ロータリアン誌』(The Rotarian)が送られて来ます。それはどの様な内容のものでしょうか。4月号予告から抜萃してみました。

1. 大西洋沿岸の冒険にみちた土地——特別な旅行地域 アメリカ合衆国大西洋沿岸沿いの楽しい行程についての記事が、旅行経験豊かな作家、ビジネスの専門家等の分担執筆で、楽しく紹介されます。
2. 27億5千万年 科学的な学説や発見によれば、この惑星上の生命は少く見つもつても、こんなにも長い間存在しつづけてきたし、又これから先も同じ位の期間存在しつづけるでせう。「人間の未来」を読みたい方へ。
3. 活動中の民主主義 たくましい小国コスタリカ。そこでは法律によつて軍備を廃し、それでういた費用を教育費にまわしています。
4. 「私にとってロータリーはどんな意味をもっているか」『超我の奉仕』から自分が得た恩恵についてロータリアンの一人が述べています。興味をお持ちの方はクラブ事務所に備えてある、『ロータリアン誌』を御覧下さい。(事務の小岩さんに御申出下さい)

出席報告 (前回分)

会員数30名 当日出席20名
他ク出席2名 計22名(73.3%)

次回(4月14日)のプログラム

映画 『ゴルフア-のマナーとルール』

USIS提供